

FUJITSU Software
ServerView Infrastructure Manager V2.0
ログ管理機能利用時のディスク消費量の目安

2017年1月
富士通株式会社

ServerView Infrastructure Manager V2.0 のログ管理機能を利用して、ノードからログを定期的に収集して、ISM-VA に上に蓄積することができます。本書は収集したログの蓄積場所および蓄積されるデータ量の目安に関する情報を提供します。

収集したログはユーザーグループに割り当てられている仮想ディスク上のログ保存領域に蓄積されます。ISM-VA の各ユーザーグループへの仮想ディスク割り当ての参考にしてください。

注意

- ▶ ログ保有期間、世代数はデフォルトで以下が設定されています。
必要に応じてログ保有期間、世代数を変更してください。

保管ログ	ノードログ (ダウンロード用データ / ログ検索用データ)
7 世代	30 日

- ▶ 保管ログ、ノードログ (ダウンロード用データ)、ノードログ (ログ検索用データ) のサイズの上限はそれぞれ 10GB です。それを超える場合はダウンロードして別途保管するなどし、ISM-VA 上のログは削除してください。
- ▶ 本書に記載の容量は特定の構成、特定の運用を行った場合における参考値です。実際のご使用状況により大きく異なる場合があります。
- ▶ 本書に記載の略語や、ログ収集機能の詳細については下記のマニュアルを参照してください。
 - ・FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.0 ユーザーズマニュアル
 - ・FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.0 用語集

- 管理するログの種別および蓄積場所について
ログ管理機能はログを収集した際、保管ログ、ノードログ (ダウンロード用データ)、ノードログ (ログ検索用データ) を作成します。
それぞれ以下のログ保存領域に蓄積されます。

ログ種別	保存領域
保管ログ	ノードが所属するノードグループが関連付けられている
ノードログ (ダウンロード用データ)	ユーザーグループのログ保存領域 (*1)
ノードログ (ログ検索用データ)	Administrator グループのログ保存領域 (*2)

(*1) ノードグループがユーザーグループに関連付けられていない場合は Administrator グループのログ保存領域に蓄積されます。

(*2) 全てのノードのノードログ (ログ検索用データ) が Administrator グループのログ保存領域に蓄積されます。ノードグループが Administrator グループ以外のユーザーグループに関連付けられている場合も Administrator グループのログ保存領域に蓄積されます。

● ログ容量の目安

➤ 保管ログの容量

1 ノードあたりの 1 世代の目安。

ログ収集ターゲット			容量の目安
ハードウェア	Server	PRIMERGY	1KB
	Switch	SR-X	50KB
		Brocade VDX	50MB
Storage	ETERNUS DX/AF		10MB
オペレーティングシステム	Windows		5MB
	Linux		5MB
	VMware ESXi		3MB
ServerView Suite	ServerView Agents		Windows : 10MB Linux : 80MB
	ServerView Agentless Service		
	ServerView RAID Manager		

➤ ノードログ(ダウンロード用データ)の容量

1 ノードあたりの 30 日間分の目安。

ログ収集ターゲット			容量の目安
ハードウェア	Server	PRIMERGY	50KB
	Switch	SR-X	100KB
		Brocade VDX	100KB
Storage	ETERNUS DX/AF		100KB
オペレーティングシステム	Windows		1MB
	Linux		1MB
	VMware ESXi		4MB

- ノードログ(検索用データ)の容量
1ノードあたりの30日間分の目安。

ログ収集ターゲット			容量の目安
ハードウェア	Server	PRIMERGY	500KB
	Switch	SR-X	1MB
		Brocade VDX	1MB
Storage	ETERNUS DX/AF		1MB
オペレーティングシステム	Windows		15MB
	Linux		15MB
	VMware ESXi		50MB

以上